

より豊かに、より魅力ある人生を送っている方にフォーカスする「The Life Up」。

今回、ご紹介するのは日本最大級の読書会「猫町倶楽部」を主宰する山本多津也さん。読書を通じた人生の楽しみ方を提案しています。精力的な活動内容や読書の秋にふさわしい本の魅力について伺いました。



山本多津也さん(やまもと・たつや)

愛知県生まれ。住宅リフォーム会社を経営する傍ら、会員数7000人を超える読書会「猫町倶楽部」を主宰。課題本を読了した人が参加し意見を交わす読書倶楽部を名古屋・東京・関西で開いている。

猫町倶楽部
http://nekomachi-club.com/
052-774-3150

多くの仲間と語り合う楽しみ

本を介して 人間関係が広がる

猫町倶楽部を発足したきっかけは

山本 7年ほど前、読書好きだった私は、「どうしたらそんなに本が読めるのか」と友人に相談されました。ちょうど会社を独立し、いくつかの経営セミナーに通っていた頃です。そこで私はセミナーより読書会の形式が良いと感じ、06年、41歳の時、ビジネス書を読み合う「名古屋アウトプット勉強会」を仲間4名で始めました。

回を重ねるうちに、20名ほどになったのですが、SNS「mixi」で活動を紹介したところ、すぐに1,000人規模になっていきました。半年後に作った「文学サロン月曜会」にも多くの人が集まり、その後、芸術の会などジャンルを広げ、東京・関西と活動の拠点も広がっていきました。

読書会人気の背景には

山本 本を読むだけでなく、感想を話し合って知識を定着させられること、教養を得る場になるからだと思います。

内側から自分を 変えてくれる

読書会で得られることは

山本 何か話さなければいけないというだけで読み方が変わり、5倍も10倍も深い読書体験ができます。

何より人間関係が劇的に変化しますね。本を媒介に、世代や業種を超えて深い話もし、上下のない人間

関係が飛躍的に広がっていきます。

本の魅力とは

山本 知らない世界を見せてくれますよね。考え方が広げられ、いつも見ている風景も変わり、新しいことをしなくても内側から自分が変わっていきます。

一生残る一文に出会えたら、その読書には十分、価値がある。それが何百円、千円で手に入るのですから、こんなに安い物はないですよ。

目標は本好きが集う シェアハウス

記憶に残る本、お薦めの本は

山本 坂口安吾の『桜の森の満開の下』は毎春、読みますね。ヴィクトール・フランクルの名著『夜と霧』には、大変な影響を受けています。國分功一郎さんの『暇と退屈の論理学』『来るべき民主主義』も面白いですよ。

今後の目標は

山本 読書がもっと普及するのいいと思っっているので、全国的に猫町倶楽部を展開し、読書の楽しみ方ももっと広げていきたいと思っています。私の本業は住宅リフォーム業なので、本好きが集まって暮らす猫町シェアハウスも作りたいですね。



課題本について議論しあう読書会 ※猫町倶楽部提供

広告

企画・制作 | 読売新聞社広告局

大人のプレミアム。

さらさら
から
た。

彩りを添えて一年。

みなさまに愛されて

「さらさらがた」は一年という季節を

めぐることができました。

これからも和の恵みをふんだんに使った

珠玉のひとくちをお届けいたします。

これまで以上に、

ご愛顧いただけますと幸いです。

二〇一三年秋、
新しいプレミアム



〈限定販売〉
慶

職人の技を凝縮した繊細な市松模様の餡村雨と柿羊羹の豊かなハーモニー。

一年のご愛顧に感謝を込めた、期間限定の商品です。

〈販売期間 11月1日~17日〉 252円税込

○日保ち 30日 ○特定原材料等 小考・やまいも